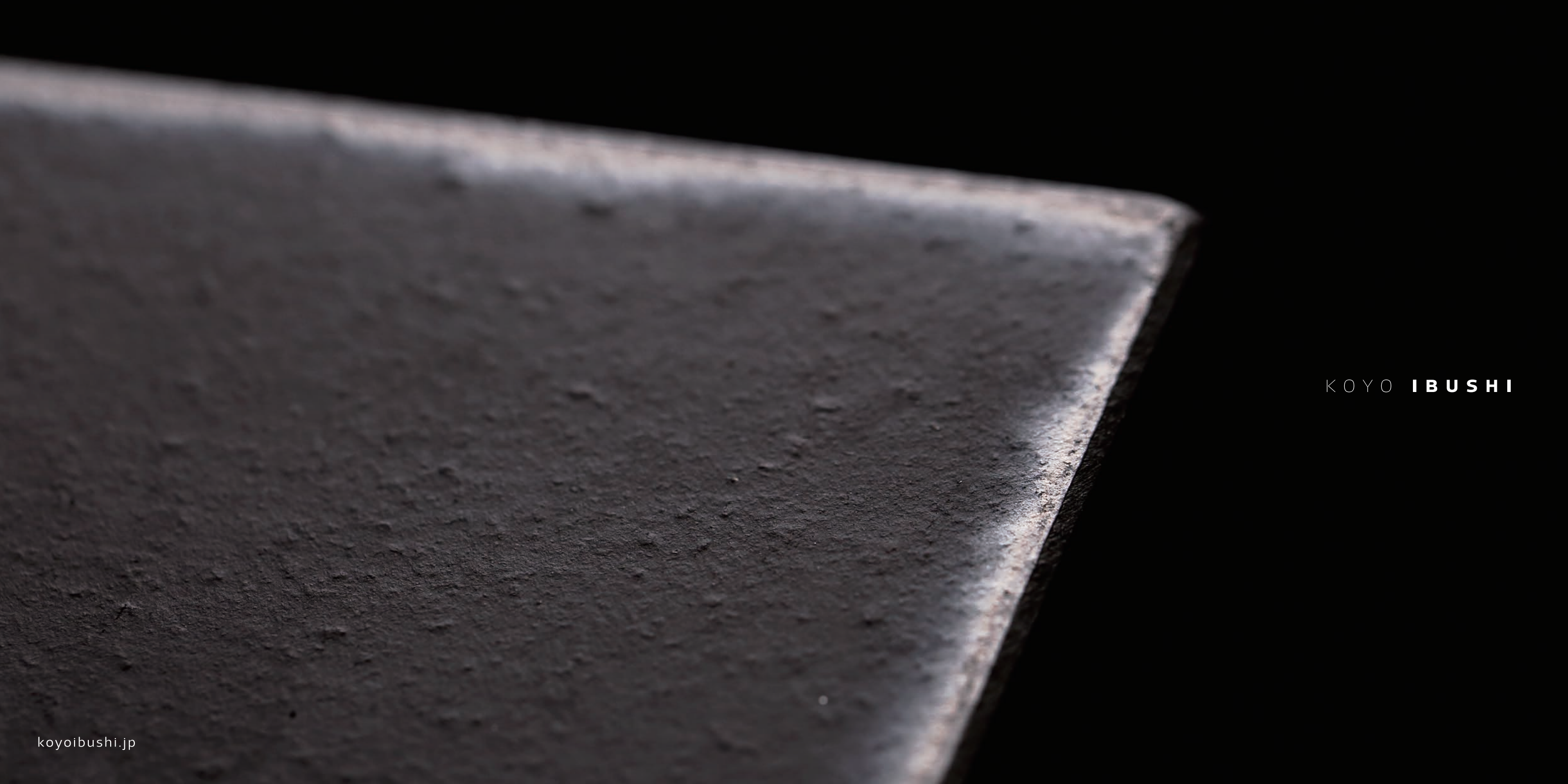




KOYO **IBUSHI**



美しい瓦のふるさとから。



市川の清流と豊かな自然に恵まれたまち、兵庫県姫路市船津町。この地に瓦窯元が開きはじめたのは文化2年のこと。瓦の材料となる良質な粘土が多くあったことから姫路城主の命を受けたのがはじまりでした。そんな歴史ある船津町にいぶし瓦窯元の光洋製瓦があります。

創業は大正12年。良質の粘土を酸化焼成した後、還元燻化で焼き上げた光洋窯のいぶし瓦は、その強度と美しさにおいて全国でも類を見ないほどの逸品と評価されつづけてきました。このいぶし瓦と卓越した技術は文化庁にも認められ、ユネスコ世界遺産・姫路城「平成の大修理」では大天守の瓦を製作。鯱瓦、鬼瓦をはじめ、多くの光洋瓦が今、白鷺が羽を広げたような美しい城の姿をつくりだしています。その他にも龍野城、出石城、大塩天満宮、賀茂神社など、高い精度を求められる重要文化財を次々と復元。数多くの神社仏閣、城郭などの特殊瓦の製作を行い、伝統建築を未来へ残す上で私たちが果たしてきた役割は決して小さなものではありません。

『KOYO IBUSHI』は、そんな光洋製瓦から生まれたインテリア素材。自然素材であるいぶし瓦の強くて美しい風合いを、空間のアクセントとして、建物全体を包む壁材として、お使いいただけます。昔ながらの伝統技術を、美しい瓦のふるさとから。それが、光洋製瓦の新しい挑戦です。

屋根から壁へ、5000年目の進化。

光洋製瓦

数千年前からつづく伝統素材。

一説では4000年とも、5000年とも言われる瓦の歴史。日本書紀によれば日本の瓦の歴史は、西暦588年の飛鳥寺建立時に中国より伝来したのがはじまりとされています。光洋製瓦が手がけるいぶし瓦の製法が伝えられたのは安土桃山時代という説が有力。明（中国）の一観という人物が織田信長の命により粘土瓦を製作する際、燻してつくる製造法を伝えたようです。日本全国に普及したのは江戸時代に入ってから。火災を防ぐという目的で民家にも瓦を葺くようになりました。

強くて、優しいいぶし瓦。

多孔質セラミックであるいぶし瓦の特徴のひとつが強さ。屋根材の多くが10～20年で寿命を迎えてしまいましたが、一般的に倍以上の耐久性を発揮します。また、土と炭素という自然素材だけでできているのも、愛される理由。人にも地球にも優しい素材として、今なお人気です。その他にも断熱性や遠赤外線効果など、最新素材にも引けを取らない性能を持つ瓦。KOYO IBUSHIはそんないぶし瓦の特徴を最大限に生かしてつくられています。



いぶし銀の輝きを纏^{まと}う。

いぶし瓦の渋いシルバーのような輝きは炭素の膜。英語で Smoked Tilesと呼ばれる通り、焼成の最終工程で「いぶし」と呼ばれる燻化を行うことで、金属をまぶすことなく独特の光沢が生まれます。外壁材として使えば陽の光を、室内に使えばルームライトや間接光を優しく反射。印象深い表情を演出してくれます。いぶし銀の輝きは穏やかに変化していきます。時を経て風合いが変わっていくこともまた、長く愛したくなる理由かもしれません。

土と、炭素と、手仕事と。

光洋製瓦では性質の違いのある数種類の粘土を独自の比率でブレンド。それぞれの長所を引き出しながら、ゆっくり時間をかけて焼成、燻化することで美しいいぶし銀の炭素膜を形成しています。また、製作において欠かせないのが匠による手作業。焼成前には表面をヘラやコテで丹念に磨いて滑らかに。さらに土のクセを見抜き、季節や温度、湿度に応じて微妙に焼成前の形を変化させることで、いつも均一で美しい高品質ないぶし瓦を生み出しています。

ARARE

色合いと厚みの異なる正方形のパーツをランダムに組み合わせました。
光のあたり方によって変わる表情をお楽しみいただけます。

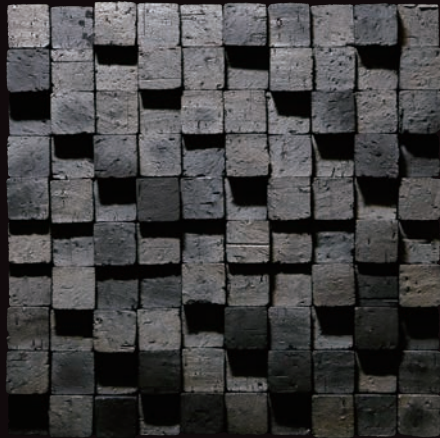
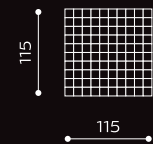


5 LARGE LL SUPER SMALL MIDDLE SMALL

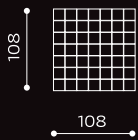


REGO

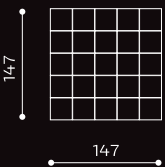
SUPER SMALL (ITAR-20)
115mm×115mm×5~9mm



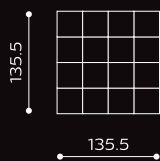
SMALL (ITAR-21)
108mm×108mm×5~9mm



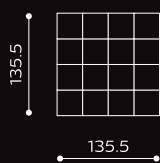
MIDDLE (ITAR-22)
147mm×147mm×7~11mm

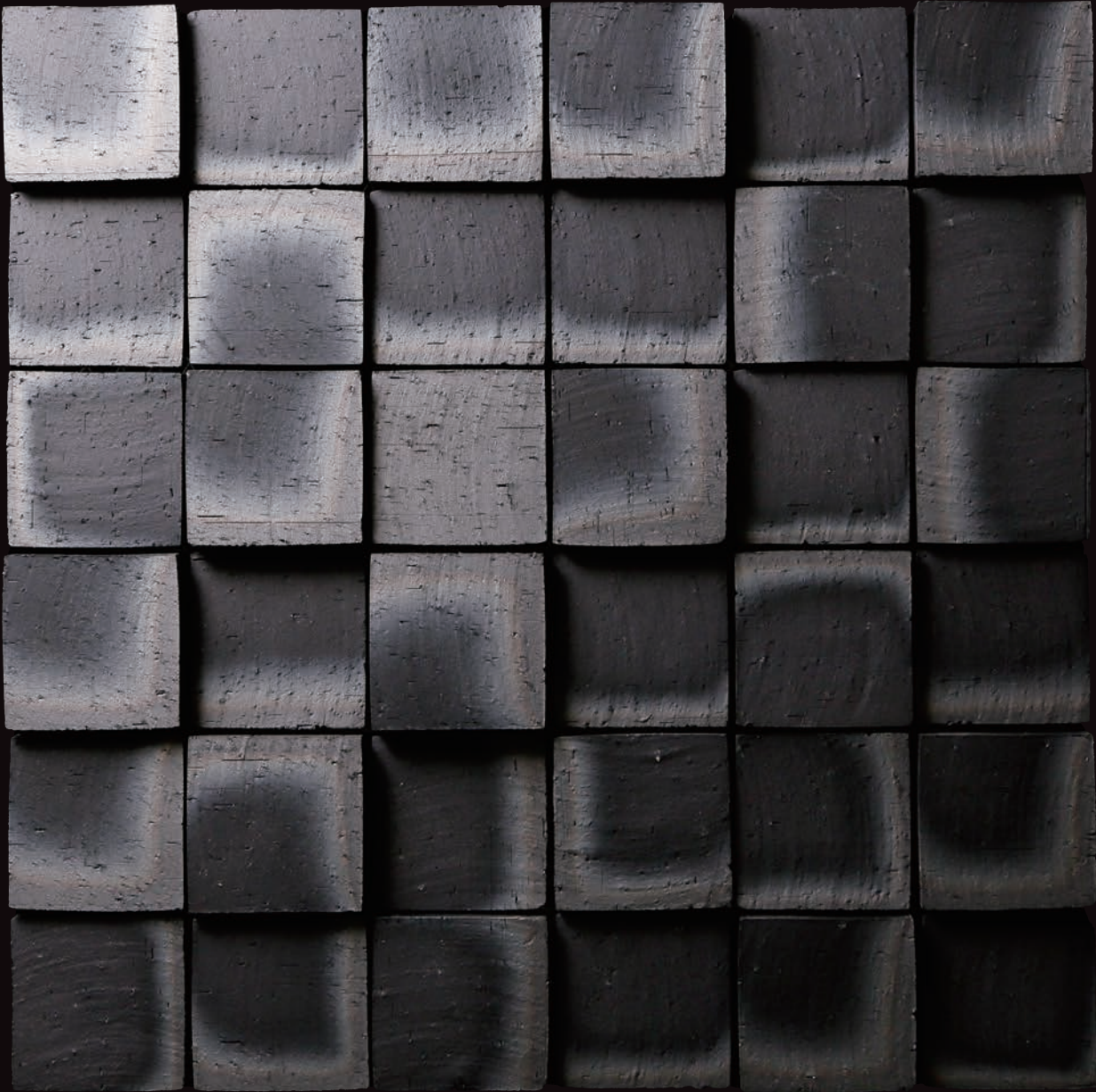


LARGE (ITAR-23)
135.5mm×135.5mm×7~11mm

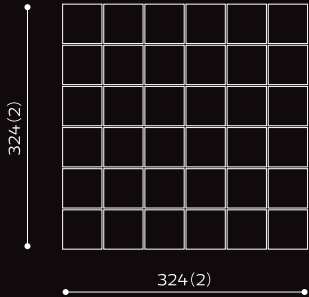


LARGE (ITAR-23-F)
135.5mm×135.5mm×15mm

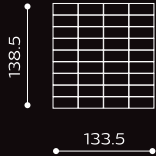




LL (ITAR-54)
324mm×324mm×7~15mm



REGO (ITAR-24)
133.5mm×138.5mm×9~15mm





ARARE / REGO

HARIMA

伸びやかな横の広がりを感じさせつつも、陰影ある表情が魅力のシリーズ。
光と影のコントラストで、美しいしつらえを叶えます。

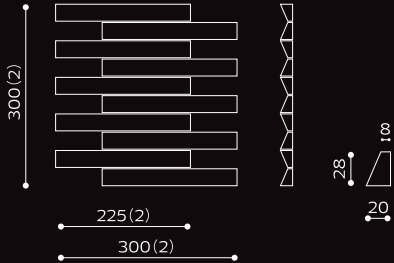


SATO

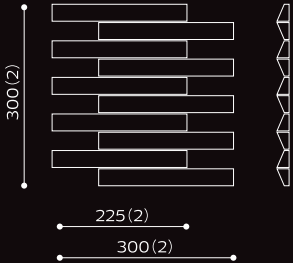
YAMA



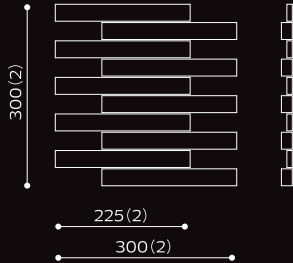
YAMA A (ITBS-30-225L)
300mm×225mm×8~20mm



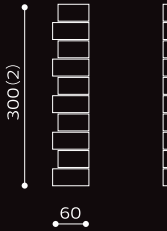
YAMA B (ITBS-30-225R)
300mm×225mm×8~20mm



SATO (ITB-30-225)
300mm×225mm×9~15mm



HARIMA・INABA共用コーナー (ITB-C)
300mm×50~60mm×9mm



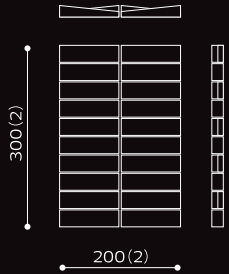
INABA

左右に高低差のあるパーツを交互にレイアウトしました。
光にあたることで光沢と影を生み出し、より趣きのある表情をつくります。

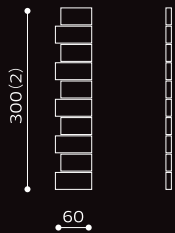


INABA

INABA (ITBS-30-100)
300mm×200mm×9~19mm



HARIMA・INABA共用コーナー (ITB-C)
300mm×50~60mm×9mm

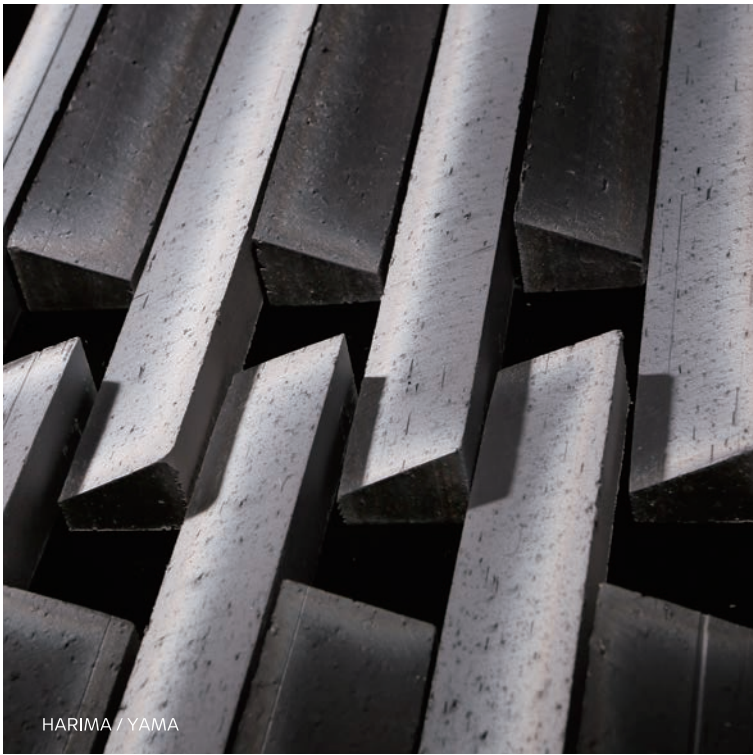




HARIMA / YAMA



HARIMA / SATO



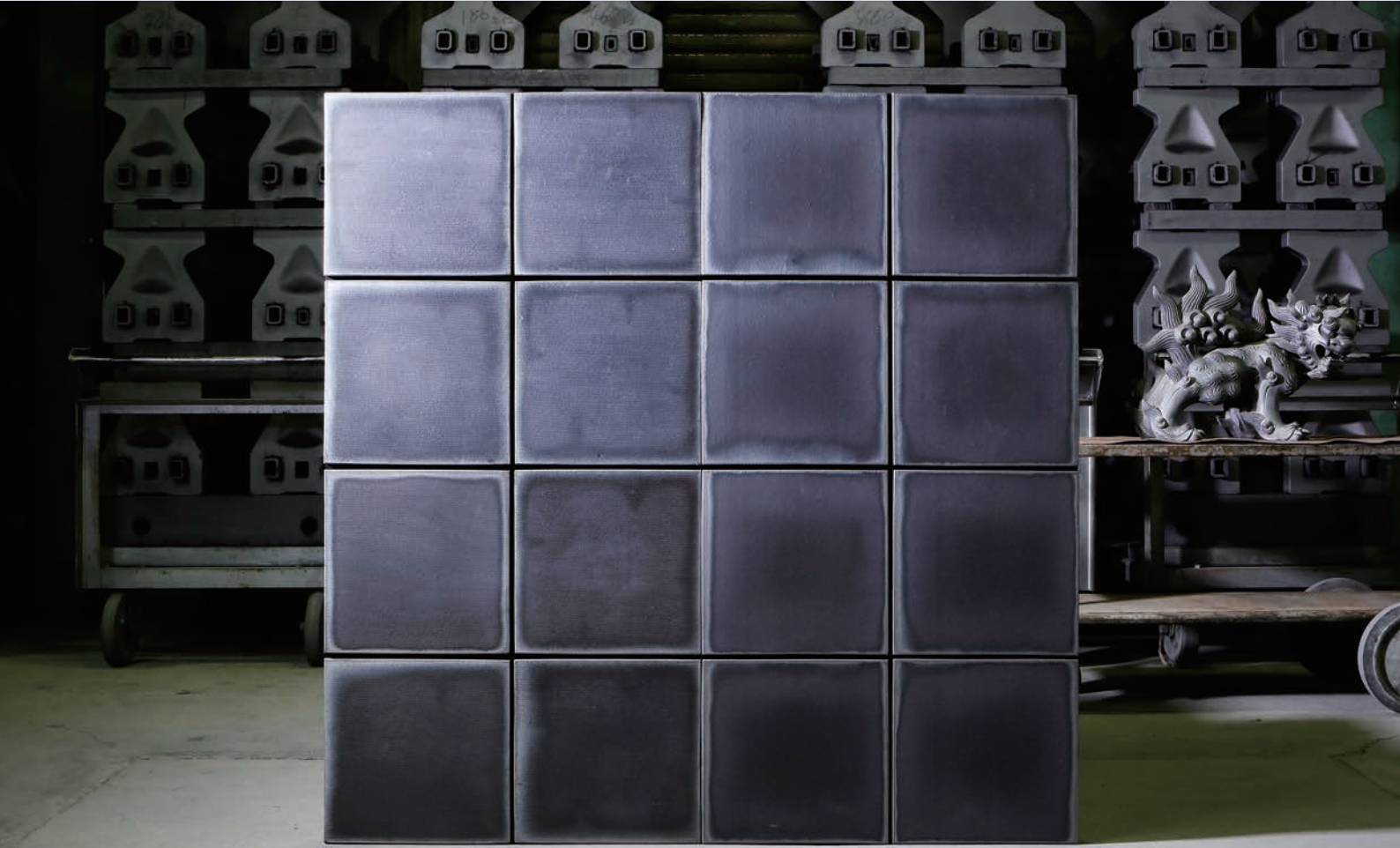
HARIMA / YAMA



INABA

JIN

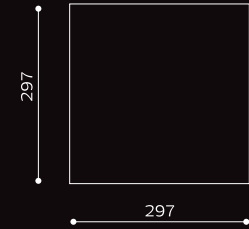
大判スクエア型のKOYO IBUSHI。
裏表になっており、微細なスリットが入った面は独特の質感が印象的。
フラットで光沢のある面は光を美しく跳ね返します。



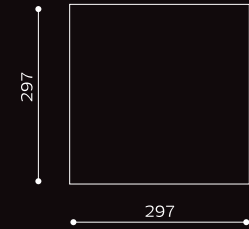
JIN / FRONT (櫛目)

JIN / BACK (無地)

壁用 (JIN-300W)
297mm×297mm×10mm



床用 (JIN-300F)
297mm×297mm×15mm



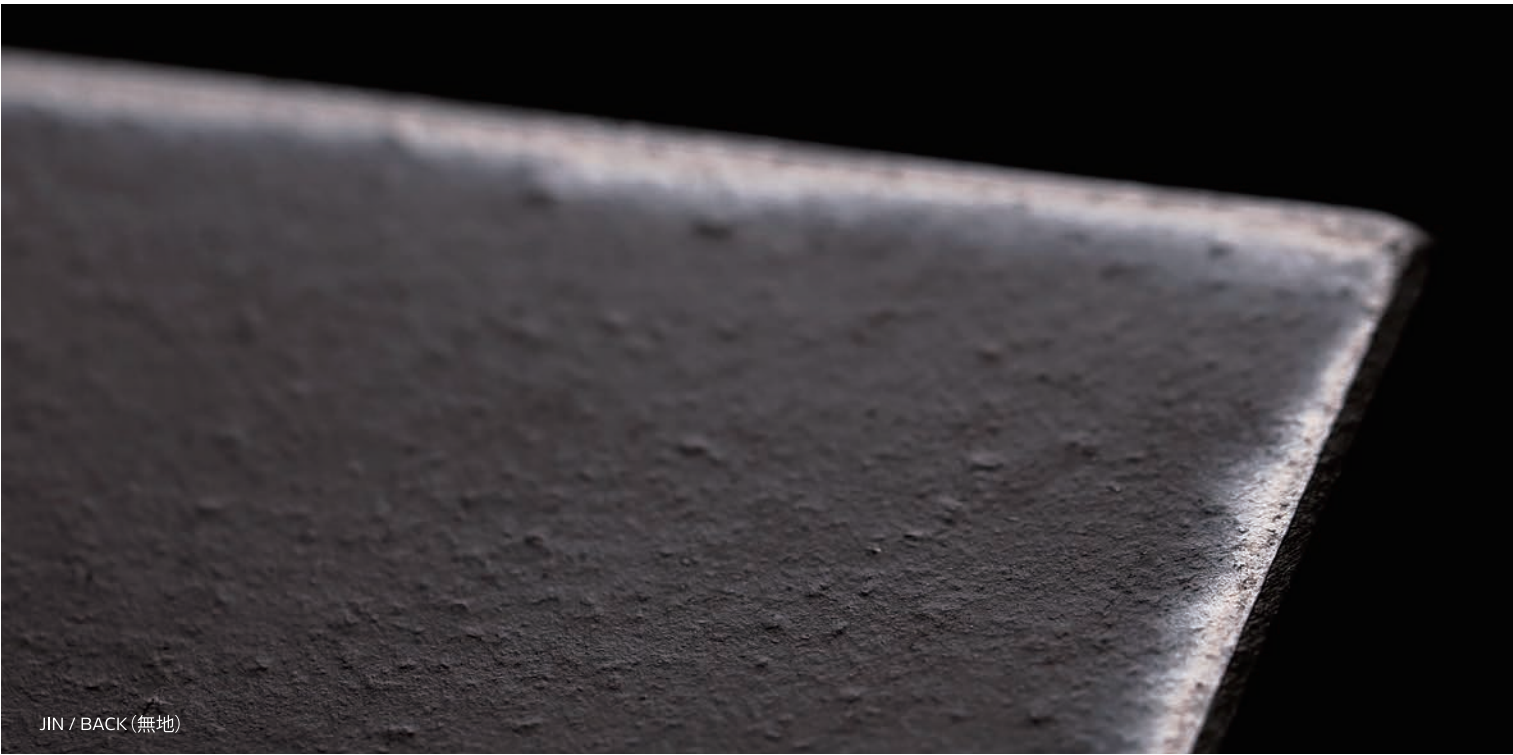
FRONT (櫛目)



BACK (無地)



JIN / FRONT (櫛目)



JIN / BACK (無地)

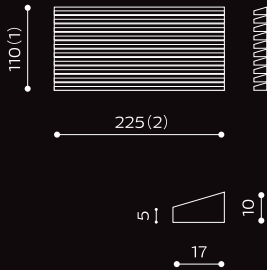
LINE

シャープなラインを活かした意匠が特徴的な「LINE」。重厚感のある「BLACK」、美しく輝く「SILVER」、それらを組み合わせた「MIX」からお選びください。

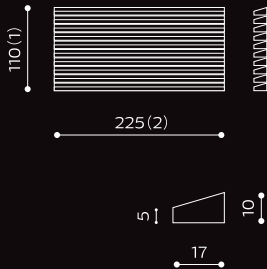


LINE

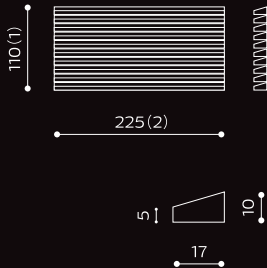
BLACK (ITFL-B)
225mm×110mm×17mm



SILVER (ITFL-S)
225mm×110mm×17mm



MIX (ITFL-M)
225mm×110mm×17mm



KASURI

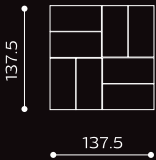
長方形のパーツを縦に2個、横に2個ずつ配したデザイン。
いぶし銀が織りなすモザイクタイルのような表情は空間のアクセントに最適です。



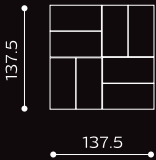
KASURI / 凹凸タイプ

KASURI

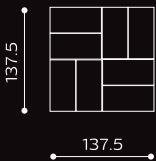
FLAT壁用 (ITK-11)
137.5mm×137.5mm×9mm



FLAT床用 (ITK-11-F)
137.5mm×137.5mm×15mm



凹凸タイプ (ITK-12)
137.5mm×137.5mm×9~15mm



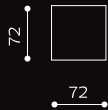
SQUARE

一枚一枚いぶし銀の表情の違いを愉しめるスクエアパーツ。
お好みの場所で、お好みの枚数を組み合わせてお使いいただけます。

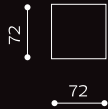


SQUARE

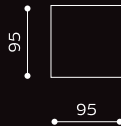
75 壁用 (ITAR-75-9)
72mm×72mm×9mm



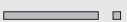
75 床用 (ITAR-75-15)
72mm×72mm×15mm



100 壁用 (ITAR-100)
95mm×95mm×9mm



OTHER PIECE

品 種	BORDER 20	BORDER 25	IRAKA 16	IRAKA 25	IRAKA 50
品 番	ITB-2020	ITB-2525	IRAKA-64-16	IRAKA-64-25	IRAKA-64-50
標準寸法(mm)	20×250	25×250	270×50	270×50	270×50
厚さ(mm)	20	25	16	25	50
入数(枚/箱)	102	70	77	55	33
重量(kg/本)	0.22	0.34	0.2	0.33	0.66
					
					

Made in JAPAN

AII 無釉タイル（Ⅱ類/石器質）

接着剤貼り専用商品

- 接着剤は内装用変成シリコンタイプをご使用ください
- 外装に施工される場合は変成シリコンエポキシ系ボンドをご使用下さい
- 外部又は水がかかる場所での使用の際は、下地で耐水性を確保して下さい
- 焼物特有の色むらと色幅があります
- 吸水率が5%程度あります
- 製品の特性上、傷がつきやすく表面のいぶし加工も剥がれやすいため、取り扱いには十分に注意してください
- 表面のいぶし加工が剥がれるため、直接養生テープやマスキングテープを貼らないでください
- 酸洗いはできません
- 目地ありの商品は隙間から連結材が見えます
- 在庫量が少ないのでお問い合わせください。在庫がない場合は1ヶ月程度の製作期間が必要です
- サイズ表示は標準寸法です。ロットによっては寸法誤差が生じることがあります。割り付けの際はご注意下さい



会社概要

会社名	日本伝統いぶし瓦窯元 光洋製瓦株式会社
所在地	〒679-2101 兵庫県姫路市船津町5241-5
電話番号	079-232-5295
FAX番号	079-232-7003
E-mail	info@koyoseiga.co.jp
URL	http://www.koyoseiga.co.jp
創業	大正12年3月10日
資本金	10,000,000円
事業概要	○文化財・神社・仏閣・城郭・堂塔等の瓦（製造・販売・屋根葺施工） ○一般住宅の瓦（製造・販売・屋根葺施工） ○体験観光事業 ○インテリア事業



ユネスコ世界遺産・姫路城の瓦を製作している
姫路の日本伝統いぶし瓦の窯元です。